

五色沼湖沼群

五色沼（「色とりどりの沼」という意味）湖沼群は、青緑色、緑色、銅色などの色鮮やかな約 30 の沼の集まりです。1888 年、磐梯山が噴火し、約 300 の浅い沼ができました。この噴火で、磐梯山の北側の斜面から大量の岩や土が流れ落ちました。大量の岩や土はいくつかの谷をせき止めてくぼみを作り、そこにこれらの沼が形成されました。

沼の鮮やかで多彩な色合いは、水や砂に含まれる化学物質やケイ酸アルミニウムなどの鉱物粒子によって作り出されていると考えられています。また、周囲の風景の反射や、堆積物や植生の違いも影響しています。磐梯山の火山活動によって水中の硫酸塩の濃度が高くなっているため、いくつかの沼は強い酸性を示します。pH（水素イオン濃度）が非常に低く、水生生物が住めない沼もあります。

地質学者らは、高い位置にある湖から流れた水をこれらの沼がろ過していると考えています。銅沼（あかぬま）は、磐梯山の北側の斜面にある火口湖です。銅沼の水は、いくつかの他の沼に流れ込み、ミネラル含有量に影響を与えていると考えられています。

五色沼湖沼群の周囲には片道約 4 km、約 90 分の自然散策路があり、10 個の沼を見ることができます。